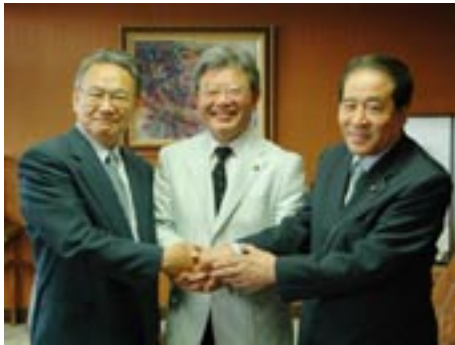


# 姉妹都市 秩父市（埼玉県）の市長が本市を来訪されました

セメント会社の合併を機に、旧小野田市と旧秩父市との間で姉妹都市提携の調印が行われたのが平成8年5月。その後10年が経過し、両市とも市町村合併を経て、新市として生まれ変わったのを機に、新たに友好の絆を再確認しあおうという気運が高まり、栗原秩父市長の本市来訪が実現しました。（6月1・2日）

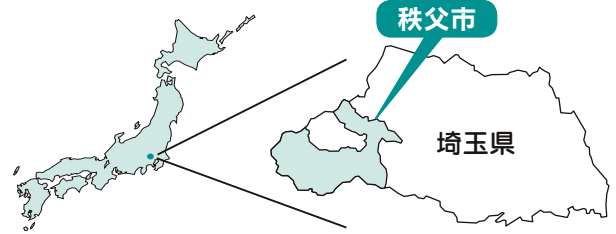
今後は、本市から秩父市への訪問団派遣、姉妹都市提携の再調印などが予定されています。本市とはまちの性格を異にする、山あいに位置する秩父市との官民一体となつての活発な交流が期待されます。

【問い合わせ先】市民活動推進課（☎ 82-1134）



▲固い握手を交わす栗原秩父市長（中）

## 秩父市紹介



【面積】 577.69 ㎡（埼玉県全体の約 15%を占める）  
【人口】 71,298 人（5/1 現在）



「秩父夜祭」は「京都祇園祭」「飛騨高山祭」とともに日本三大曳山祭に数えられ、毎年、多くの人でにぎわいます。

## 市長から 市民のみなさんへ



山口小野田市長 白井 博文

### 秩父市と姉妹都市提携の再調印をします

埼玉県秩父市と旧小野田市が、旧小野田セメントと旧秩父セメントの合併が縁で姉妹都市提携を行ったのは平成8年のことでした。その後、山口きらら博でのサッカー交流など官民あげての交流が続き、その提携は新市に引き継がれました。しかし、以降は少し“疎遠”な状態となっていたので、今回の記事をご覧になって、両市の関係をはじめてお知りになった市民の方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。

途絶えた関係を何とかしたいという思いがありましたので、本市同様、市町村合併を経て新たに誕生した新秩父市の新市長に働きかけてみたところ、上記記事にありますように先月、秩父市長の本市来訪が実現し、その際、再度、両市の有益な協力関係を築いていくという意思確認を行うことができ、市長としてたいへんうれし

## 対話の日

※いずれの会場も19:00から



7月12日(木) 大持集落センター  
7月26日(木) 下木屋自治会館  
8月 9日(木) 平沼田自治会館

く思っているところです。また、その席上で、秩父市長から12月2,3日に開催される日本三大曳山祭「秩父夜祭」へのご招待を受けました。秩父市のみなさんの好意に甘えることにはなりますが、可能でしたら、私ひとりではなく、市民のみなさんとともに訪問団を結成し、その訪問の際に、姉妹都市提携の再調印式もあわせて行いたいと考えているところです。具体的にお知らせできる段階になり次第、広報紙等でお伝えするつもりです。機会があった私は以前、「秩父夜祭」を観覧したことがありますが、“荘厳”“壮大”など、言葉で表現できないほど感銘をうけました。市民のみなさんとともに、再度、訪問し、祭りを通じて秩父市のみなさんとの友好の絆を深める旅ができればと期待は膨らむばかりです。